



ウィーンの森

森と墓と川 おドナウ

ウィーンの森と言えば、ウィーンの北西から南西にかけて生い茂る森のことを指す。雑木林のとてもなく立派な物、と思えばよい。それほど急な坂道もないし、足の達者な人に限らずハイキングには絶好の場所だ。

中央墓地は市内にある墓地としてはとても広く、2平方キロメートルほどある。1874年に「死人の宗派は問わず」というモットーの市営墓地としてオープンした。音楽家の墓も多いが、1874年以前に亡くなった人々の墓碑は、別の所から移されたものだ。

たとえばモーツァルト。モーツァルトはザンクト・マルクスの共同墓地に、他の多くの人々の遺骨といっしょに埋められていた。その位置さえも不明瞭だった上に時間もたっていたため、掘り起こしできなかった。中央墓地にあるものは「モーツァルト記念像」と銘打たれ、遺骨は入っていない。



中央墓地：ベートーヴェン／モーツァルト／シューベルト

ドナウはヨーロッパで2番目に長い川だ。南ドイツより、オーストリア、ハンガリー、ユーゴスラヴィアを経てブルガリアで黒海にそそぐ、全長3000キロ弱の大川である。

ドナウの川岸は市民の憩いの公園だ。散歩道やサイクリングロードばかりかスーデイストビーチまである。

またウィーンからハンガリーへ至るまでの川沿いには無傷の自然が残されており、世界でも希少な昆虫や動植物が生息している。

ところで、ドナウが「青い」というのはまっかなウソ。青空が水面に映ったときだけ「やっっぱり青いのかな？」と感じるだけだ。

でもシュトラウスは「美しき青きドナウ」でウィーンっ子は言うに及ばず、全世界の人々に夢を与えてくれた。



右からシエンベルク、ヨハン・シュトラウス、カラヤン、ブラームス



ゆったりと流れるドナウ運河

●知識/ダニに御注意！
ウイーンの森に住んでいて、木の枝からポトリと落ちてくるダニが怖い。このダニに噛まれると、日本脳炎と似たウイルス性脳炎にかかることがある。

これを防ぐには予防接種が一番。留学して何年もこの土地に住み、その上散歩が大好き、という人には特にお薦めする。

予防接種は区の保健所などでやってもらえる。まず初回、その後4〜12週間の間に2回目、そして9〜12カ月以内にもう1回、と計3回続けないと十分な免疫を得られないのがちよつとまどろっこしいが、これさえすればその後は3年ごとに追加接種を受けるだけで良い。

不幸にして予防接種を受ける前にこのダニに噛まれた場合には、すぐさま医師の診察を受ける事。甘く見ると大事に至る。

